

日本さくら式お手当て療術法（ラムンラマイ整体）による  
施術後の効果測定結果のご報告

時代挑戦の四十五年。

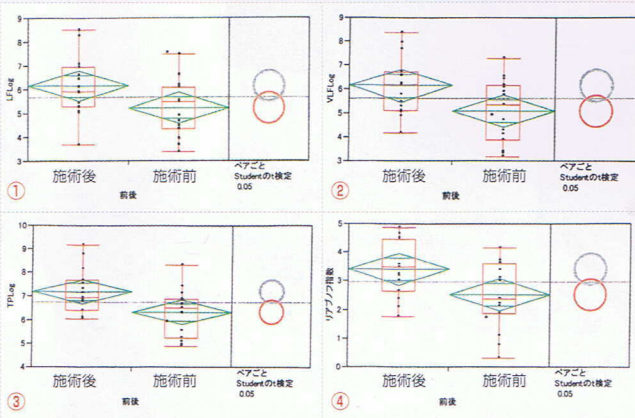
ストレス社会が生んだ不調や、症状、病気に悩む数多くの方々のお役に立つために現場に立ち続けてまいりましたが、このたび、大阪大学基礎工学部 招聘教授 雄山真弓博士、関西女子短期大学 准教授 辻野順子博士による「日本さくら式（ラムンラマイ）整体」施術後の効果を研究された結果が私どもの手元に届きました。下のグラフにより、施術前より施術後の脈波の数値が明らかに高まっていることが分かります。これは施術を受けることで副交感神経の活性化と自律神経系や精神的免疫力により結果が見られたことを示しています。

今まで主観的な報告でしかなく、客観的な報告が実現したことは、



国際代替医療学院 学長  
とみえ 富榮 スワンソン

日本さくら式お手当て療術法® 創始者  
日本さくら式お手当て療術法協会 理事長



上記グラフは①交換神経、②体温調整、血管運動、ホルモン系、心肺機能、③自律神経系調整能力の活性、④精神的活性度の各数値の上昇を表しています。

のオンリーワン療術法「日本さくら式（ラムンラマイ）整体」を修得し、日々お客様に対応している卒業生や、人の役に立ちたいと願うこの療術法を学ばれる方々への朗報となりました。

- \* リラックスする
- \* 血行が高まる
- \* 緊張がゆるむ
- \* 血流がよくなる
- \* 違和感が楽になる

◆ その他のご報告



2010年12月5日  
技能五輪国際大会ビューティーセラピー（エステティック）部門の国内選考会本選に於いて、特別審査員に就任。ロンドンでの世界大会に出場する、日本代表選手を選出いたしました。

左：藤井幸子先生（日本エステティック協会 理事）  
中央：富榮スワンソン  
右：木下ユミ先生（日本エステティック協会 国際委員会副委員長）  
\* [技能五輪国際大会]  
約2年に一度開催される、技能労働者の技能を競う国際大会

2010年11月11日  
日本ネイリスト協会設立25周年式典にて、同協会 前理事長 北村 晋先生らと共に、設立草創期の功労者としてその功績を表彰され、滝川 晃一 現理事長、名誉会長 参議院議員 山東 昭子先生らと共に登壇いたしました。

「日本さくら式（ラムンラマイ）整体」は、自律神経を整えるスキンタッチや、脳への深いアプローチが体により深い癒しを与え、人体の全てを良好な状態へと導きます。この療術法は痛みを伴わず、安心して受けて頂けるので、高齢化社会にも非常に役立つ手技法です。

代替医療の最先端となるべきこの療術法で、時代に対応できるセラピストを育成し、更なる社会貢献をさせて頂くべく、ますます研鑽を深めてまいりたいと存じます。

